

# 三月の購入図書

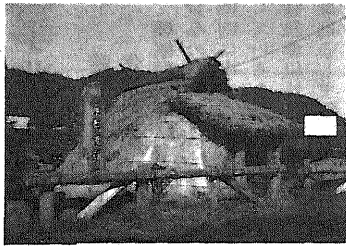
## 一般図書

- 妻のこころ 羽仁説子  
 民俗学の旅 宮本常一  
 エジソン発明の天才 K.ハリス著  
 最新簿記精説 武田安弘編著  
 莊洋たる大國カナダ 鹿住一夫  
 経済成長の代価 E.J.ミシヤン著  
 人間復興の経済 E.F.シュマツハ  
 法律文書の読み方 小林賢明  
 会計学 染谷恭次郎  
 知的野性教育 竹村健一「蒸著  
 即答ノ税務の疑問 山本清次  
 日本商人事情 深田祐介  
 電気磁気学 村上二郎  
 地球史 小嶋 稔  
 数学切りぬき帳 矢野健太郎  
 ガンの再発と転移 豊島 滋  
 化石の手帖 木村達明「共著

- 家庭修理のすべて 松下紀久雄  
 名物料理めぐり 福村弘二  
 養蚕の起源と古代絹 布目順郎  
 手紙の書き方 安田 武  
 私の万葉集 杉本苑子  
 浅の川暮色 五木寛之  
 レモン色の月 源氏鶏太  
 娘と私の時間 佐藤愛子  
 自伝の文学 中川久子  
 オーパノ 開高 健  
 血族 山口 瞳  
 幻の指定席 山村美紗  
 父の詫び状 山田卯子  
 日本詩歌紀行 大岡 信  
 忍ぶ橋 北泉優子  
 米内光政 上、下、巻 阿川弘之  
 大浪花諸人往来 有明夏夫  
 外四十七冊

- このたび市では、屋台後幕「牧  
 童牛の背に笛を吹く」・「耳飾を  
 付けた土偶」・「住吉遺跡復元住  
 居」・「三ッ峠千段の滝（北口登  
 山道）」・「旧尾県学校校舎（藤  
 村式建築）」・「都留文科大学」・  
 「甲州織」・「甲州谷村城絵図」  
 八枚一組の絵ハガキを作りました。  
 一部四百円で、取り扱いは自分の  
 間、教育委員会で行なっておりま  
 すが、市内での取り扱い所は、検  
 討の上、次号広報にてお知らせ致  
 します。

## 都留市の絵ハガキできる



ことばあそびうた 谷川俊太郎  
 ふしぎなよめさま 民話研究会編  
 天女の羽衣 清水達也  
 星と星座の伝説 春、夏、瀬川昌男  
 宇宙―そのひろがりをしろう  
 加子里子  
 サケの一生 さのおさむ  
 たねのゆくえ 植沙 萌  
 もつともくわしいフルーツレイン  
 図鑑 竹島紀充  
 紙でつくる楽しい手づくりあそび  
 竹内 博  
 グローバークンクリーパー、ペラ  
 トムソーヤーの冒険 トウエイン、  
 マーク  
 あしながおじさん ウェブスター、  
 ジーン  
 いばら姫 グリム  
 外二十七冊  
 一般図書 八一冊  
 児童図書四二冊  
 計 一二三冊

## 市立一坪図書館 開館お知らせ

新たに市立一坪図書館が開館い  
 たしましたのでお知らせします。  
 地区 館主 開設日時  
 小形山 平井 貢 金曜日 午  
 後二時〜四時  
 井 倉 平井玲子 土曜日 午  
 後一時〜三時  
 与 繩 前田 憲 土曜日 午  
 後二時〜四時

## 近世「6」



といわれてきたことでもわかる  
 ようだ、また漆の実からは木蠹も  
 とれ灯火用にもなった、また同じ  
 小形山村差出帳、一七五九（宝曆  
 九）年によると  
 漆 一盃一指、一盃八畑米五  
 斗に継合俵

とあり漆をとることが困難であ  
 った年は米で納めるようになった  
 からであろう。また一七二五（享  
 保一〇）年の「都留郡内郷帳」に

一二百七石 漆代  
 此漆二十八桶  
 但し 一桶十五貫五指入  
 代金 六十一兩  
 但し、一桶二付五兩三分かえ  
 とあつて、但しがいの一桶十五貫  
 五指入は何かちがつているよう  
 漆桶の容量は、二七〇匁（約一キ  
 ログラム）が通例で中道町（東八  
 代郡）の例からしてもこの数字は  
 あやまりではないだろうか。  
 しかしこの時期に漆が二八桶も  
 納められたということは（その村  
 名はない）郡内の全域からであつ  
 たにちがひなく、同帳に漆桶代と  
 いう名目で大豆を納めていたこと  
 が記されており、

とあつて、こ、だけでこれだけ  
 の数量が納められたとすれば郡内  
 の生産高はこれによつて推定する  
 ことはできないが、相当量の産出  
 があつたものと考えられ  
 よき漆木五本うえて持ちたる者  
 は老人夫婦の糧は必ずあるもの  
 なり  
 羽田富士男